

2023年11月30日  
JR東日本スタートアップ株式会社  
株式会社 Agnavi  
株式会社 JR中央線コミュニティデザイン

全国各地の日本酒 80 銘柄が中央線に集結！  
日本酒一合缶角打ち「旅する日本酒店」が期間限定オープン  
～酒蔵の魅力発信から地域活性化を目指し、日本酒と人の新たな出会いの場を創出～

- JR東日本スタートアップ株式会社（代表取締役社長：柴田 裕）とJR東日本スタートアッププログラム2023春（※）の採択企業であり、日本酒ブランド「ICHI-GO-CAN®」を展開する株式会社 Agnavi（代表取締役 CEO：玄 成秀）は、株式会社 JR中央線コミュニティデザイン（代表取締役社長：高橋 好一）と共創し、全国各地の日本酒が楽しめる一合缶の体験店舗を中央線の高架下などで2023年12月15日（金）より期間限定オープンします。
- 「旅する日本酒店」は地域の日本酒を取り扱う日本酒一合缶角打ちです。開催期間中、全国各地 80 銘柄の日本酒を5週にわたって地域ごとに販売し、JR東日本と地域がコラボした商品もご用意しています。
- Agnavi 社の持つ缶の充填から販売までを一気通貫するサービスで、全国の日本酒を取りまとめて販売し、様々な地域の日本酒に出会う機会を創出します。今回は、日本酒一合缶を通じて、地域の日本酒を体験できる場をつくることで、地域の酒蔵の魅力を発信し、観光流動につなげることを目的にしています。

※JR東日本スタートアッププログラムとは・・・ベンチャー企業や様々なアイデアを有する方々から、駅や鉄道、グループ事業の経営資源や情報資産を活用したビジネス・サービスの提案を募り、ブラッシュアップを経て実現していくプログラムです。



## 1 「旅する日本酒店」の概要

日 時：2023年12月15日（金）よりオープン

商 品：全国各地の日本酒 80 銘柄の一合缶

「旅する日本酒店」の開催期間中、キッチンカーも出店します。また、各週で全国各地のエリアごとにテーマを設けた企画や一合缶の購入毎にスタンプを貯めて、素敵な景品がもらえるキャンペーンも実施します。



### 【12月】

テーマ	関東飲み比べ
日時	12月15日（金）18時～20時 16日（土）・17日（日）11時～19時
場所	JR 武蔵小金井駅東側高架下
銘柄	澤乃井（東京都青梅市）、帝松（埼玉県比企郡）、ケトハレ（埼玉県比企郡）、東力士（栃木県那須烏山市）、来福（茨城県筑西市）、盛升（神奈川県厚木市）、水芭蕉（群馬県利根郡）、甲子（千葉県印旛郡）、秩父錦（埼玉県秩父市）、菊泉（埼玉県深谷市）、清龍（埼玉県蓮田市）、武甲正宗（埼玉県秩父市）、九重桜（埼玉県さいたま市）、力士（埼玉県加須市）、枳川（埼玉県行田市）、日本橋（埼玉県行田市）、天覧山（埼玉県飯能市）、旭正宗（埼玉県さいたま市）、越生梅林（埼玉県入間郡）、晴菊（埼玉県羽生市）、長瀬（埼玉県秩父郡）、文楽（埼玉県上尾市）、東白菊（埼玉県深谷市）、金紋世界鷹（埼玉県さいたま市）、晴雲（埼玉県羽生市）、織星（埼玉県深谷市）、琵琶のささ浪（埼玉県入間郡）、豊明（埼玉県幸手市）、直実（埼玉県熊谷市）、万両（埼玉県さいたま市）、鏡山（埼玉県川越市）、秩父錦（埼玉県秩父市）、帝松（埼玉県比企郡）、湘南（神奈川県茅ヶ崎市）、いづみ橋（神奈川県海老名市）、はるひめ（神奈川県海老名市）、箱根山（神奈川県足柄上郡）、菊勇（神奈川県伊勢原市）、雨降（神奈川県伊勢原市）
テーマ	近畿飲み比べ
日時	12月22日（金）16時～20時 23日（土）・24日（日）11時～19時
場所	JR 武蔵小金井駅東側高架下
銘柄	神蔵（京都府京都市左京区吉田河原町）、丹後の光（京都府京丹後市大宮町周枳）、城陽（京都府城陽市奈島久保野）、玉乃光（京都市伏見区）

### 【1月】

テーマ	九州、四国飲み比べ
日時	1月12日（金）16時～20時 13日（土）・14日（日）11時～19時
場所	JR 武蔵境駅 nonowa Terrace
銘柄	光武（佐賀県鹿島市）、北斗百裂拳（佐賀県鹿島市）、北斗剛掌波（佐賀県鹿島市）、百合仕込み（大分県日田市）、杵の川（長崎県東彼杵町）、喜多屋（福岡県八女市）、花純（熊本県葦北郡）、天吹（佐賀県三養基郡）、三芳菊（徳島県三好市）

テーマ	東北飲み比べ
日時	1月19日(金)16時~20時 20日(土)・21日(日)11時~19時
場所	JR 武蔵境駅 nonowa Terrace
銘柄	菊乃井(青森県黒石市)、じょっぱり(青森県弘前市)、あさ開(岩手県盛岡市)、関山(岩手県一関市)、大納川(秋田県横手市)
テーマ	中部飲み比べ
日時	1月26日(金)16時~20時 27日(土)・28日(日)11時~19時
場所	JR 武蔵境駅 nonowa Terrace
銘柄	満寿泉(富山県富山市)、満寿泉 Bo(富山富山市)、苗加屋(富山県砺波市)、若駒(富山県南砺市)、富美菊(富山県富山市)、幻の瀧(富山県黒部市)、帆波(富山県魚津市)、成政(富山県南砺市)、風の盆(富山県南砺市)、玉旭(富山県富山市)、花垣(福井県大野市)、一乃谷(福井県大野市)、北の庄(福井県福井市)、福千歳(福井県福井市)、越後鶴亀(新潟県新潟市)、今代司(新潟県新潟市)、白龍(新潟県阿賀野市)、富士錦(静岡県富士宮市)、岩波(長野県松本市)

#### 【常時取り扱い商品】

テーマ	JR 東日本コラボ一合缶
商品	SL(D51)、(C61) 一合缶(群馬県利根郡川場村)、SL 銀河 一合缶(岩手県盛岡市)、東北新幹線(E5系) 一合缶(福島県双葉郡)、フルーティアふくしま 一合缶(福島県二本松市)、ぽぽべえ 磐城壽 一合缶(福島県双葉郡)、ぽぽべえ 奥の松 一合缶(福島県二本松市)、その他3商品を予定



#### 【旅する日本酒スタンプカードキャンペーンの実施】

期間中、一合缶を1本お買い上げ毎に、スタンプカードにスタンプを1個押印。5個貯まれば、JR 青梅線沢井駅にある小澤酒造の「澤乃井 一合缶」がもれなくもらえます。※先着300名限定 ※参加条件として、参加費用10円をいただきます。

(Suica等交通系ICカードでのご利用限定)



## 2 背景

昨今若者のお酒離れにより、日本酒の消費量は年々減少傾向にあり、地域の酒蔵にとって厳しい状況です。これは、地域の観光資源の減少にもつながるため、観光産業にとっても大きな課題でもあります。

こうした地域課題に対して、缶の充填から販売までを一気通貫して行い、小ロットで缶に清酒を詰める Agnavi 社のサービスにより、大小問わず地域の酒蔵と連携することが可能です。市場に出回ることが少ない銘柄も広く流通させることができ、様々な地域の日本酒に出会う機会を創出することができます。今回は、日本酒一合缶を通じて地域の日本酒を体験できる場をつくることで、地域の酒蔵の魅力を発信し、観光流動につなげるため、実施に至りました。

### 【ICHI-GO-CAN®について】

Agnavi 社が展開する“適量・オシャレ・持ち運びベンリ”を実現させた 1 合 180mL の日本酒ブランドで、環境にも配慮した日本酒普及の取り組みです。

### 【Agnavi について】

日本酒ブランド「ICHI-GO-CAN®」を運営し、「日本酒を世界に広める」ことをミッションに掲げるベンチャー企業です。全国 100 種類以上の地酒を取りまとめて販売しており、蔵の大小に依存しない地方の魅力を発信することで、日本酒の消費拡大を目指しています。地方の歴史ある酒蔵が存続安定できるようにするためのゲームチェンジャーとなり、ライフスタイルを革新する様々な日本酒をワンストップで入手できる充填から販売までの商流構築を通じた新たな市場の創出のための挑戦を続けています。事業開始 2 年半で全国 100 蔵元との協業にその輪は広がり、展開する銘柄は 130 種類以上に達しました。北米・南米・東南アジア・ヨーロッパなど海外への輸出を行っています。

### 【各社概要】

#### JR 東日本スタートアップ

会社名： JR 東日本スタートアップ株式会社

所在地： 東京都港区高輪 2-21-42

代表者： 代表取締役社長 柴田 裕

設立： 2018 年 2 月 20 日

事業内容： 事業シーズや先端技術の調査・発掘、ベンチャー企業への出資及び J R 東日本グループとの協業推進

U R L : <https://jrestartup.co.jp/>

#### Agnavi

会社名： 株式会社 Agnavi

所在地： 神奈川県茅ヶ崎市本村 2 丁目 2 番地 18 号

代表者： 代表取締役 玄 成秀

設立： 2020 年 2 月 27 日

事業内容： 日本酒ブランド「ICHI-GO-CAN®」の展開

U R L : <https://agnavi.co.jp/>

#### JR 中央線コミュニティデザイン

会社名： 株式会社 JR 中央線コミュニティデザイン

所在地： 東京都小金井市本町 1-18-10 小金井本町ビル 5F

代表者： 代表取締役社長 高橋 好一

設立： 2021 年 4 月

事業内容： SC 事業、駅業務受託事業、高架下開発・活用事業、地域活性化事業、教育事業、ワークスペース事業

U R L : <https://www.jrccd.co.jp/company/>

※画像等はすべてイメージです。

※商品の取り扱い内容は予告なく変更になる場合がございます。

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

JR 東日本スタートアップ株式会社 担当 佐々木・山田 Email [info@jrestartup.co.jp](mailto:info@jrestartup.co.jp) TEL 03-6778-4366

株式会社 Agnavi 担当 日置 Email [info@agnavi.jp](mailto:info@agnavi.jp)

株式会社 JR 中央線コミュニティデザイン 担当 広報 Email [press@jrccd.co.jp](mailto:press@jrccd.co.jp) TEL 042-316-4401